

2008年 / ネットと現実とは別物でなく一体化社会へ

新しい2008年の年が明けました。おめでとうございます！ さて今年は.....と思っていた矢先に、正月の2日、岡山市で自社サイト『WAVE HOUSE Web』 (<http://www.wavehouse.co.jp/>) を運営する(株)ウェーブハウスの市川社長のブログ『Byウェーブハウス 市川 周治』に「インターネットが変えていくもの」 (<http://wavehouse.jugem.cc/?eid=898>) という記事がみつかりました。私は、今年は「ネットと現実とは別物でなく一体化社会へ入っている」ことを体験する元年だと思っているのですが、そうしたステージ(一体化社会)を市川社長はすでに遊泳し始めていますので、まずは記事(掲載のご了承を頂いております)をご紹介させていただくことにしましょう。

〔ここから市川社長のブログ〕インターネットが我々の生活を大きく変えていくと言われていますが、我々が行動するパターンをもう一度見直してみると、インターネットを有効に活用することで時間と労力を節約することができると思う。

たとえば、最近インターネットバンキングの口座を作ったのだが、これは一度使うとやめられない。振込み手数料も窓口より安く利用でき、なにより窓口に行くのに車で行くとガソリンの消費と排ガスを撒き散らしているので環境破壊につながるということとなにより自由に使える時間が増えるということが大きな成果ではないでしょうか。

世間ではエコロジーや環境問題について叫ばれているが、今の皆さんの行動パターンを再検証してみれば、ネットを上手に活用することで環境問題も解決できるのではないかと思う。

私は最近、岡山の昭和40年代・50年代の住宅地図を図書館で調べているのだが、これが、混雑した図書館の駐車場に車を停めて、書籍にたどり着くまでに非常に時間と労力を要するのです。今、Google が世界のすべての書籍をインターネットで検索できるようにするという壮大な構想があって、一部すでに公開されているのですが、著作権の問題があって、一部では物議をかもしているのですが、利用者にとっては非常に便利な革命的なできごとだと思う。もし、すべての書籍がネットで検索でき、閲覧できればまさに知識の世界共有ができるのではないのでしょうか？

そして、今まで何か調べ物をするために図書館に行ったり、さまざまな場所に移動して調べ物をするという無駄な作業から開放されるのではないのでしょうか。

インターネットの本当の革命はこれから巻き起こってくるのだと思います。そしてそれは、世界中の人々を巻き込んで、知の共有と社会構造を変えていく。そしてまさにインターネットを使った民主主義が実現されるのではないのでしょうか。インターネットが世の中を変えていくことは間違いないと思います。

そして、一度便利な世界を体験した人は、もとに戻ることができないということを我々は認識してしっかりとサイトを作っていかなければならないと思います。〔引用おわり〕

いかがだったでしょうか。私が四の五の言うよりも直截でわかりやすいですね。今年は、“未体験ネット社会”へ突入してみようではありませんか。